

ヘルニアの手術を受けられる方へ

月日（日時）	／		／	
経過（病日等）	手術前日 または 入院直後（手術日に入院の場合）	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後 1 日目以降
達成目標	・手術に必要な準備を理解することができ、安全に手術を受けられるようにしましょう。		・痛み止めを使いながら、術後早期に歩きましょう。	・退院後の生活について理解しましょう。
点滴	・指示がない限り点滴はありません。	・指示がない限り点滴はありません。	・手術室で点滴を始めます。 	・点滴が終わったら針を抜きます。
薬	・現在内服している薬を確認します。 ・内服薬の継続については、医師または看護師から説明します。 ・夕食後に錠剤の下剤を内服します。	・必要な内服薬については医師または看護師から説明します。	・食事ができない時は点滴の痛み止めをお持ちします。 ・食事開始後は、内服の痛み止めをお持ちします。	・普段内服していた薬が再開となる予定です。医師または看護師から説明します。
検査	・身長と体重を測ります。 ・基本的には検査はありませんが、基礎疾患や術後経過によっては検査を行いません。			
処置	・感染防止の為、おへその処置と手術部位の除毛を行う場合があります。	・呼び出しがありましたら、手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 ・パンツは着用できます。	・血栓予防のため足にフットポンプはくらはぎのマッサージ器が付きます。歩けるようになればはずします。 ・必要に応じて酸素の吸入を行いません。	・創部の確認をします。
活動 安静度	・特に制限はありません		・帰室後、2時間の安静となります。 ・覚醒状態を確認してから歩行が開始になります。最初の歩行は看護師が付き添います。	・特に制限はありません。 
食事	・食事療法をされている方、アレルギーのある方はお知らせください。 ・夕食後は禁食となります。 ・夕食にお渡しするOS-1を朝7時まで少しずつ飲んでください。 ・22時までには固形物の摂取ができます。 ・22時以降はOS-1のみ飲むことができます。（水は飲めません）	・2 日目以降の手術の方のみ、OS-1を手術予定時間の2時間前までに少しずつ飲んでください。	・【全身麻酔時】 帰室 2 時間後、覚醒が良好であれば飲水ができます。 ・【腰椎麻酔時】 帰室 1 時間後、覚醒が良好であれば飲水ができます。 ・初回の飲水は看護師の見守りで行ないます。 ・【午前手術】 夕食から五分粥 ができます。 ・【午後手術】 夕食も欠食です。	・朝食から常食となります。
清潔	・除毛後にシャワーを浴びてください。	・入浴やシャワー浴はできません。 ・朝の洗顔は可能ですが、クリームなどはつけないようにしてください。	・入浴やシャワー浴はできません。	・身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。パジャマへの着替えをお手伝いします。 ・術後 2 日目以降、医師の許可が出たらシャワー浴ができます。
排泄	・下剤内服後に排便があったら看護師に伝えてください。	・朝までの排便状況を確認いたします。朝までに便がないときは浣腸をします。	・手術後は尿の管が入っていることがあります。覚醒の状態を確認して、抜くか判断をします。 ・最初のトイレは看護師が付き添います。	・尿の管を抜きます。 ・痛みで便が出にくいことや硬くなるようでしたら主治医又は看護師に相談してください。
患者様への説明 生活指導	・入院生活について説明します。 ・手首にリストバンドをつけます。 ・手術に必要な物品を確認します。 ・医師から手術について説明があります。 ・手術に関する同意書を確認します。 	・手術室へ行くときには、時計、眼鏡、義歯、湿布、指輪、ヘアピン、かつら、補聴器等を外してください。 ・手術側の手の甲に、医師が印をつけます。 ・リストバンドがついているか確認します。	・ご家族の方は看護師が声をかけるまでラウンジでお待ちください。 ・痛みはがまんせず、看護師にお伝えください。	・退院後の生活について説明をします。 ・退院後も腹圧のかかる動作は避けましょう。 ・便秘にならないようバランスのとれた食生活をこころがけましょう。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。